

目次

- 1面 会長あいさつ 委員会活動方針
総会報告 役員一覧
- 2面 広報紙コンクール
- 3面 国内研修事業 三行詩コンクール
合同研修会
- 4面～7面
日P全国研究大会新潟大会報告
- 8面 県PTA安全互助会
役立つ本の紹介

新潟県 P T A

No.105

発行 新潟県小中学校PTA連合会
編集 広報委員会
 〒950-0965
 新潟市中央区新光町7番地2
 新潟県商工会館5階
Mail ngtknpta@coral.ocn.ne.jp
 ホームページもぜひご覧ください!
 新潟県PTA連合会

県P連スローガン

子どもたちの未来に希望と夢を、地域で育てる生きる力



熱い(暑い)夏を終えて

会長 平石 祥吉

今年度の最大の事業である第66回日本PTA全国研究大会新潟大会を無事に終えることができました。新潟では57年ぶりの大会で、新潟県P連と新潟市P連の共催ということもあり、県内すべての力を結集した大会でありました。この大会のスローガンである「米百俵の精神」というワードを、広く全国の方に周知することができ、教育のまち新潟を十分感じていただけたのではないかと思います。

また、県内のPTAの皆様には、大会の運営にあたって大変お世話になり、心から感謝申し上げます。ありがとうございました。今後の県PTAについて



副会長 太刀川 歩美



副会長 榎本 恵美子



副会長 岩淵 里江子



副会長 板倉 久徳



副会長 齊藤 知之

教育問題委員会 活動方針
委員長 澁谷 将人

組織検討委員会 活動方針
委員長 磯貝 洋介

広報委員会 活動方針
委員長 山口 裕子

昨年度と同様に、組織検討委員会との合同で活動し、特別支援教育について取り上げます。

「特別支援教育」と言っても、具体的にどのような特性があるのか、どういった教育や、周りではどのような支援ができるのかを、11月の研修会で、皆様にも更にご理解を深めていただきたいと思います。

当委員会では、今年度も教育問題委員会と合同で研修会を開催いたします。

研修会では「子どもの安心・安全」をテーマとし、講師を招いての講演会を予定しています。昨今、子どもが事故や事件に巻き込まれるケースが増えています。この研修会がPTA会員の防犯意識の向上に資する場になればと考えております。

本年度は、8月に開催された第66回日本PTA全国研究大会新潟大会の報告もあり、例年と異なる内容となります。

限られた紙面の中で、広報紙コンクールや三行詩コンクール作品もできる限り掲載していきます。新潟県PTA連合会の活動をより多くの方に知っていただけたら、より伝わりやすい紙面になるよう考え、編集していきたいと思っております。

新潟県小中学校PTA連合会総会 日P新潟大会へ一丸となってラストスパート

6月9日(土)に新潟県商工会館を会場として、平成30年度新潟県小中学校PTA連合会総会が開催されました。

はじめに平石祥吉会長のあいさつがありました。昨今の子どもたちを取り巻く環境で抱える問題と対応、そして、日P全国研究大会新潟大会の準備を行った昨年度の事業運営を振り返り、その苦悩と、3カ月後に開催される新潟大会に向けての新たな信念を述べました。

続いて新潟県教育委員会生涯学習推進課長 信田直樹様より、県教育長 池田幸博様からの祝辞を披露いただきました。

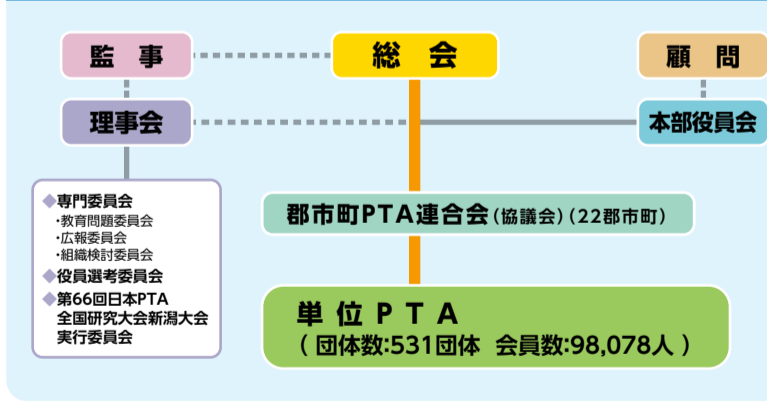
来賓紹介後には、第16回新潟県小中学校PTA広報紙コンクールと、新潟県小中学校PTA連合会表彰の表彰式が行われ、それぞれ表彰状が授与されました。

表彰式終了後に、上越市小中学校PTA連絡協議会代表議員 岡田龍一氏が議長に選出され、議事に入りました。

第1号議案は、29年度会務事業報告及び各委員会の活動報告。第2号議案では29年



新潟県小中学校PTA連合会組織図(平成30年6月30日現在)



平成30年度 役員

役職	所属	氏名	役職	所属	氏名	役職	所属	氏名	役職	所属	氏名
会長	長岡市出雲崎町	平石 祥吉	理事	妙高	石野 伸幸	理事	南蒲原	磯貝 洋介	理事	教職員組合	米澤 祐児
副会長	上越	齊藤 知之	理事	長岡市出雲崎町	内藤 善幸	理事	新発田	澁谷 将人	理事	教職員組合	徳橋 和人
副会長	新発田	板倉 久徳	理事	長岡市出雲崎町	恩田 孝夫	理事	五泉	五十嵐光代	顧問	小学校長会	大野 雅人
副会長	長岡市出雲崎町	岩淵 里江子	理事	長岡市出雲崎町	村田 靖	理事	燕・弥彦	白倉 基宏	顧問	中学校長会	濱中 力也
副会長	胎内	榎本 恵美子	理事	三条	土田 昌幸	理事	村上市岩船郡	中山 陽介	顧問	県P連	堀川 義徳
副会長	長岡市出雲崎町	太刀川 歩美	理事	柏崎	品田 史夫	理事	阿賀野	渡邊 哲	顧問	県P連	中嶋 聡子
監事	小学校長会	村川 孝子	理事	加茂	瀧澤 茂秋	理事	佐渡	川上 巧	顧問	県P連	佐藤 陽志
監事	村上市岩船郡	石田 浩二	理事	見附	山口 裕子	理事	胎内	平井 孝	顧問	県P連	加藤康太郎
監事	五泉	齋藤 研	理事	小千谷	大川 晃一	理事	聖籠	小林 勝弘	事務局長		山下あい子
理事	上越	藤井 修	理事	十日町市津南町	羽鳥 高史	理事	阿賀	清田 亮	事務局次長	日P新潟大会事務局長(長岡)	金澤 壽一
理事	上越	横尾 訓男	理事	南魚沼郡市	高橋 正司	理事	小学校長会	関谷 祐二			
理事	糸魚川	櫻澤 邦宏	理事	魚沼	志田 孝太	理事	中学校長会	五十嵐喜代春			



第16回 新潟県PTA広報紙コンクール 入賞PTA



中学校の部
最優秀賞

糸魚川市立
糸魚川中学校PTA



小学校の部
最優秀賞

見附市立
今町小学校PTA



中学校の部 優秀賞

長岡市立東北中学校PTA



出雲崎町立出雲崎小学校PTA



小学校の部 優秀賞

糸魚川市立糸魚川小学校PTA



妙高市立新井中学校父母と教師の会



上越市立城北中学校PTA

中学校の部 奨励賞



上越市立大町小学校PTA



胎内市立中条小学校PTA



長岡市立上川西小学校PTA

小学校の部 奨励賞

(応募数：小学校35校、中学校19校)

情報化社会の進展や少子高齢化に伴う地域社会の変化など、子どもたちを取り巻く環境は一層複雑になっています。そんな時代だからこそ、子どもたちの健やかな成長のためには学校と家庭、地域社会がしっかりと手を携えて児童生徒と向き合い、見守り、育んでいくことが何より大切であり、学校、家庭、地域社会をつなぐPTAの活動は極めて重要と言えます。PTAは児童生徒の健全な成長を図ることを目的とし、親と教師とが協力して学校や家庭での教育について理解を深め、子どもたちの校外での生活の指導、地域の教育環境の改善、充実などを図るための組織と位置付けられているからです。

重い役割を担うPTAの活動を家庭や地域社会に周知し、子どもたちの健全な成長のためには何が求められるかを知ってもらうことが重要です。

中学校の部の最優秀賞の「笑顔」(糸魚川市立糸魚川中学校PTA)は、完成度の高い広報紙でした。

なツールが、PTA広報紙です。こうしたことから、コンクールの審査では①PTA活動の実態を分かりやすく掲載しているか ②家庭や地域社会に関心を持って読んでもらえる内容か ③保護者の生の声が反映されているか——といった点を重視しました。

小学校の部の最優秀賞の「ふたば」(見附市立今町小学校PTA)は、写真の配置やレイアウト工夫が見られ、読み手を引き付ける内容となっています。PTAの活動についても、各委員会が何を行ったかを要領よくまとめてありました。また、地域の人たちの支援に対する感謝のメッセージも掲載するなど、学校と家庭、地域社会の連携強化を意識した構成が目を引きました。

中学校の部の最優秀賞の「笑顔」(糸魚川市立糸魚川中学校PTA)は、完成度の高い広報紙でした。

第16回新潟県PTA広報紙コンクールの審査を終えて

新潟日報社編集局報道部第二部長 諏訪 敬明

諏訪 敬明

【小学校の部】

賞	PTA名	広報紙名
最優秀賞	見附市立今町小学校PTA	ふたば
優秀賞	糸魚川市立糸魚川小学校PTA	あお空
優秀賞	出雲崎町立出雲崎小学校PTA	いぶき
奨励賞	長岡市立上川西小学校PTA	わかかさ・PTAだより
奨励賞	胎内市立中条小学校PTA	さんせん橋
奨励賞	上越市立大町小学校PTA	おおまち
佳作	長岡市立和島小学校PTA	和み(なごみ)
佳作	長岡市立新町小学校PTA	ふたばだより
佳作	五泉市立村松小学校PTA	ふたば松
佳作	長岡市立深沢小学校PTA	夕やけ
佳作	柏崎市立枇杷島小学校PTA	びわじま
佳作	長岡市立中之島中央小学校PTA	橋・創立40周年記念誌

【中学校の部】

賞	PTA名	広報紙名
最優秀賞	糸魚川市立糸魚川中学校PTA	笑顔
優秀賞	長岡市立東北中学校PTA	かしわ
奨励賞	上越市立城北中学校PTA	城北
奨励賞	妙高市立新井中学校父母と教師の会	新樹
佳作	見附市立今町中学校PTA	今中PTAだより
佳作	長岡市立北中学校PTA	北の輪
佳作	上越市立大潟町中学校PTA	砂丘
佳作	燕市立分水中学校PTA	PTAタイムス

※奨励賞以上は、「全国小中学校広報紙コンクール」へ推薦いたしました。

平成29年度 日本PTA国内研修事業 参加報告

国内研修 in 渡嘉敷村

平成30年3月27日(火)～3月31日(土)に、沖縄県渡嘉敷島 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立沖縄青少年交流の家で、全国の中学2年生を対象に国内研修が行われました。沖縄県渡嘉敷村の方々との交流を通じて多様な文化・平和についての理解を深めたり、環境保護について考えたり、集団宿泊行動を通してコミュニケーション力を高めたりすることを目的に行われました。新潟県内から26名の参加応募があり、代表として2名が参加しました。



沖縄研修を終えて

阿賀野市 長谷川 優希 さん

ぼくはこの研修に行く前、すごく緊張していました。話すことが苦手だからです。ぼくはこの研修で友達を作りたくさん話をする、地元では体験できないことを学ぶことを目標にしました。

1日目は一番張り移動だけで疲れました。全国から111人の中学2年生が集まり、初めて対面した時少し不安もありましたが、「よし、頑張ろう」という気持ちになりました。

2日目本格的な活動が始まりました。沖縄の日の出と共にラジオ体操。海も見え、とても気分が良く、朝日がとてもきれいでした。でも平和学習で、この場所で集団自決があったことを知り、とてもショックでした。そして野外炊事。

みんなで協力してカレーを作り、家で食べる以上においしかったです。その後、海で活動し、カヤックや大型カヌーの体験をしました。海がとてもキラキラしていました。



3日目はワークショップでした。ぼくは魚のさばき方を体験しました。家でもしたことがなかったので、とても勉強になりました。そして大交流会。太鼓やフラダンスなどの発表をしました。地域の人達と共に交流でき、楽しかったです。また、その夜はテントでの宿泊でした。班の人と話をし、楽しすぎて寝れませんでした。

4日目は村の人達に向けてのメッセージ発表や、夜には最後のミーティングをしました。最後の夜ということもあって、ぼくはもう少しみんなといたいなという気持ちになりました。

ぼくは、この5日間の研修で学んだことがたくさんあります。戦争があり、多くの人達が亡くなりました。でも今は平和で、地元の人達のキラキラした笑顔が忘れられません。そして、他の県の人達と仲良くなりました。僕の宝物です。

I LOVE OKINAWA!!

加茂市 田代 梨理衣 さん

今回の研修では、言葉では表現できないほど素晴らしい体験をしてきました。

まず、羽田空港で集合したときは、様々なところから集まった人たちと仲良くなれるか不安もありましたが、グループの人たちと打ち解けることができました。そして念願の沖縄に着くと、現地の大学生がリーダーとして私たちのことを引っぱってってくれました。

最初に入村式があり、次の日には地元の人から悲惨な戦争の話を教えていただき、集団自決のことはあまりにも残酷でショックを受けました。同じ人間として、なぜそこまで追い込まなければならなかったのか、怒りと悲しみを感じました。戦争は二度とあってはならないものだと思えました。

待ちに待った海洋研修では、色々なマリンスポーツを体験しました。特にケラマブルーの海に潜り、サンゴや大きなナマコ、カラフルな魚を見て、夢のようなひとときでした。村の散策では阿波連ビーチや見たことのないような鳥、ハイビスカスなどを見て、南国を感じました。ワークショップでは、グランドゴルフを地元のお年寄りと一緒にして、たくさん笑って交流することができました。島の皆さんは大変な体験をしたのに、とても陽気で親切でした。特にお年寄りが、いつも笑顔で元気で

あることにも驚きました。私は将来、人間と生き物が共存し、大きく減少している美しい自然を守っていけるような研究者になりたいと強く決意しました。これからも自分の個性を大切に、夢に向かって頑張っていきます。



I LOVE OKINAWA!!

平成30年度

三行詩コンクール 入選者



「たのしい子育て 全国キャンペーン」

～家庭で話そう！ 我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～

応募数	
小学校	128点
中学校	290点
一般	20点

※右記の作品は、日本PTAへ推薦いたしました。二次審査以降の結果は、日本PTAのホームページをご覧ください。多数ご応募いただき、ありがとうございました。

小学校の部 最優秀賞

寝てる時隣にきて
小声でささやくお疲れ様
なでてくれる手
気づいているよお父さん
みやしたるい

学校名	学年	氏名
長岡市立青葉台小学校	6	宮下 月希
南魚沼市立後山小学校	1	高橋 卯月
田上町立羽生田小学校	4	小日向 優
田上町立羽生田小学校	4	土田 晃大
田上町立田上小学校	5	佐藤 楓華

中学校の部 最優秀賞

ロゼンか
でも、俺よりすごい
親のけんか
反抗期なのに
気をつかう
すけ
あやと

学校名	学年	氏名
魚沼市立小出中学校	3	諏佐 郁人
魚沼市立小出中学校	1	大塚 歩稀
魚沼市立小出中学校	2	貝瀬 葵
魚沼市立小出中学校	2	角屋 潤
魚沼市立小出中学校	3	森山 知香

一般の部 最優秀賞

「おう、いたのか」
ぶっきらぼうな言葉とは反対の
嬉しそうな父の笑顔
なめかた
あすか

学校名	氏名
南魚沼市立後山小学校	行方明日香
魚沼市立小出中学校	荒井 英恵
五泉市立五泉南小学校	関谷 桂子
南魚沼市立後山小学校	ワネシ綿子
南魚沼市立後山小学校	井口 豊

お知らせ

県P連 教育問題委員会・組織検討委員会 合同研修会 & 「深めよう 絆 にいがた県民会議」 県民講座

～困っている、悩んでいる子どもたちのために～

とき 11月17日(土)

13:20～16:30 (予定)

ところ 上越市 リージョンプラザ
上越市下門前446-2
☎025-544-2122

参加者 保護者・教職員・地域の方

第1部 特別支援教育

(発達障がい等への理解とサポート)

講師：県教育委員会
特別支援教育推進室

- *じっとしてられない
- *他人の気持ちが分かりにくい
- *こだわりが強い など

特性の理解とサポートでトラブルを減らせます!!



第2部

子どもたちの安心・安全

(子どもを事件・事故から守る)

講師：防犯の専門家





第66回日本PTA全国研究大会 第50回日本PTA関東ブロック研究大会

新潟大会 大成功!!

大会スローガン **教育は、未来を拓く 新潟発 米百俵の精神!** ~新潟に集い、語ろう 未来のひとづくり~

8月24日 ▶ 分科会
8月25日 ▶ 全体会

我慢、我慢。

実行委員長 平石 祥吉

3年の準備期間を経て、素晴らしい大会を作り上げることができ、ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

3年前は、実行委員長という立場を安易に考えておりました。県PTAに関わるようになり、平成24年の日P全国大会京都大会から昨年度の仙台大会まで参加して、はたして新潟でこの大会ができるのか?自分に務まるのか?など様々な葛藤と戦いながら、何とか務めてまいりました。

全国大会が日本PTAの最大の事業ということもあり、各分科会の皆様には、急で無理な変更をお願いするなど心苦しいことばかりでした。我慢、我慢の連続でしたが、力強い仲間の応援や多くの方々のご支援があったおかげで乗り越えることができました。

私たちが生きている間には新潟で全国大会開催の順番は来ないと思いますが、今回の経験をもとに、新潟のPTA、そして子どもたちが力強く歩んでいくことを望みます。

多くの仲間やご支援いただいた方々に、これから少しずつ恩返しをさせていただこうと思っております。ありがとうございました。

恵まれました

分科会部長 齊藤 知之

2年前から準備を始め、何から手をつけていいのか分からず、各分科会に迷惑ばかり。分科会実行委員長の皆さんとの質疑応答で部会が段々長くなっていきましたが、その結果、意気投合することもできました。

台風の不安要素もありましたが、分科会実行委員長、運営していただいた皆様のおかげで、全分科会が無事開催できました。

人生で一度しかない全国大会に関わることで、紙一重の幸運と思いましたが、関係者に恵まれ、楽しめました。ありがとうございました。

笑顔に感謝!

実行副委員長(新潟市P連会長) 田中 一昭

心配された台風20号もそれ、新潟大会は予定通り開催することができました。私から皆様に伝えたいこと、それは、ただただ感謝の一念であります。

今回の新潟大会は、日本PTA70周年にふさわしい、近年稀な素晴らしい全国大会であったと確信しています。初日の「運営打合せ会」「歓迎レセプション」から始まり、最終日全体会での感動のフィナーレまで、ご参加いただいた全国の皆様の心に深く残る大会になりました。



全国大会引継(新潟から次期兵庫県Pへ)

分科会の日、日本PTA東川会長と共に第6分科会を除く(佐渡は開催前週に視察)全ての分科会を視察させていただきました。最初に第7分科会を視察した際、会場準備の最中で忙しいにも関わらず、素晴らしい笑顔で出迎えていただきました。他の分科会を訪れた際も、対応は全て同レベル、どの分科会も本当に素晴らしい笑顔で出迎えてくれました。疲労困憊している状態だと想像できなかったが、微塵も感じさせない皆様の笑顔、その素晴らしい笑顔に感動です。感謝!そして、お疲れ様でした!

皆様のご協力に感謝!

総務部長 板倉 久徳

平成28年度から準備がスタートしましたが、最初は総務部の仕事をしたらいいのかわからず、事務局と連絡を取りながら、事務局や各部の仕事をサポートしておりました。

今年に入ってから、分科会前日に行われる運営打合せと歓迎レセプションの準備、そして、大会が近づくにつれ、突如湧いてきたかのように現れる事務作業が増し、あっと言う間に大会が終了しました。この大会が多岐の方々のお力添えで大成功に終えることができたことに感謝申し上げます。

広告・協賛金 募集活動の御礼

渉外部長 内藤 善幸

この新潟大会を実施するにあたり、目標を掲げて取り組んでまいりました広告・協賛金の募集活動については、県内各地の渉外部員のみならず、役員、関係者の皆様からも多大なご協力をいただき、目標を大きく上回る広告・協賛金を集めることができました。ご協賛いただきました皆様、並びにご協力いただきました皆様へ厚く御礼を申し上げます。

この活動を通じて、PTAの取組に深いご理解を示してくださった方が多くいらっしゃったことは、今後のPTA活動にとっても励みになります。活動は大変でしたが、今は充実感に満たされています。

青Tシャツの笑顔を 忘れない!

広報部長(新潟市P連) 小見 直樹

「全国から参加される皆様に『参加して良かった』と思っていただけるような新潟大会にしよう!」そのための広報ツールの作成と広報活動を行うことが広報部の役割でした。

皆様方のご理解と効果的な連携のもと、笑顔で参加者を迎え、対話いただいた結果、参加者は心地よく何かを持ち帰ってくれたものと感じています。ありがとうございました。

今回の新潟大会開催で、私たちは多くのことを学ぶことができました。これを貴重なステップとし、我が新潟県内の小中学校PTAが、さらに価値ある存在として前進していくことを願っております。

まだまだ続く記録部業務

記録部長(新潟市P連) 長谷川 雅朗

はじめに、新潟大会での記録業務に関して関係者の皆様のご協力に感謝申し上げます。

記録部は大会要項作成、各会場の映像・写真・録音、記録誌作成の業務の担当です。大会終了後に集まってくる各会場の映像や写真を見ていると、どの会場も熱気にあふれ、大いに盛り上がっている様子が見え、大いに感じられ、それだけ素晴らしい大会であったことが分かりました。

記録部はこれから「大会記録誌」の作成業務に入ります。今年中の完成を目指し、読みやすく、新潟大会の熱気が思い出せるような記録誌を作っていきたいと思っております。

全体会 記念講演

夢を追いかけてつかんだ俳優人生

会場 アオーレ長岡・ハイブ長岡

俳優 三条市出身 高橋 克実 様

全体会部長 恩田 孝夫

平成28年9月10日の第1回実行委員会を皮切りに、数えきれない打合せを経て、満を持して新潟大会が開催されました。

記念講演講師選定は混乱を極め、日本PTAとの連絡調整、演出・シナリオの度重なる修正要請もありました。また、大会直前の復興庁・新潟県警の会場下見の案内まで全体会部は本番が近づくと忙しくなりました。

前日の分科会には参加せず、1日かけてアオーレ長岡とハイブ長岡の2会場の準備を行いました。

た。わずか6名の全体会部精鋭の作業は、本日に明日までに準備が整うのかと気が遠くなりそうでしたが、それぞれが気付いたところを率先して対応し、作業を進めました。

地元長岡市出雲崎町P連160名以上のスタッフの皆さんも集合して始まった本番当日、設営業者の粋な計らいで設置された立派な受付ゲート前では、開会直前まで、全国からの参加者が記念撮影を行っていました。

また、空席を心配していた会場内もほぼ満席で予定通りに始まった書道を軸にダンスや吹奏楽も盛り込んだオープニング

感謝申し上げます。



記念講演 高橋 克実 様



全体会場入口(アオーレ長岡)

第1分科会

組織運営

会場 上越文化会館

PTAからはじまるチーム活動
〜地域とともに歩む笑顔あふれるPTA活動〜

研究課題

第1分科会 実行委員長

岡田 龍一

基調講演者には、全日本女子バレーボール元代表監督の眞鍋政義様をお招きし、チームをまとめていく秘訣や監督時代の秘話を、時にユーモアを交えてご講演いただき、来場された皆さんに笑いと感動を与えていただきました。チームとPTAという共通の組織運営、「地域とともに歩む笑顔あふれるPTA活動」という今回の第1分科会での研究課題に合った内容とな

りました。実践発表では、閉校した糸魚川市の旧市振小学校の皆さんから、統廃合にあつた実体験とその後の活動内容をチーム市振として発表していただきました。パネルディスカッションでは、コーディネーターの上越教育大学特任教授の長谷川敬子様を中心に、70分という非常に短い時間の中でしたが、5人のパネリストの皆さんに、各自の視点から内容の充実した討論をしていただきました。最後に、今回携わって

ただいた関係者・スタッフの皆さんの手際の良さ、機敏な対応や、来場されたお客様に対する丁寧なおもてなし精神の対応のおかげで分科会を無事終了することができました。全国大会という大きな研究大会を開催するにあたって、団結力が更に強固なものになったと感じることができました。そして、今後のPTA活動をはじめ、色々なところで今回得た経験を活用いただけることを願っております。



基調講演 眞鍋 政義 様



パネルディスカッション



基調講演 中山 理 様



パネルディスカッション

第3分科会

学校教育

会場 長岡グランドホテル

先人の知恵を現代の学校教育にどのように生かすか
〜学校とともに歩むPTAの在り方〜

研究課題

第3分科会 実行委員長

瀧川 寛人

長岡での第3分科会の会場は、700名以上の会員に埋め尽くされました。開会前の生バンド演奏でリラックスしていただき、アトラクションでは、日本空手協会長岡支部悠空会の子どもたちの迫力ある空手演技を披露。子どもたちの真剣な演技に見入り、緊張感を持って開会しました。

基調講演では、長岡市教育委員会教育長 高橋讓様より、長岡市のまちづくりや教育の理念として受け継がれている「米百俵の精神」の説明、長岡市の「熱中！感動！夢づくり教育」の地域と学校の連携により成功している事例を紹介していただきました。

実践発表では、長岡市立阪之上小学校から、地域に根づく活動を発表していただきました。発表後には、是非我々の地元で講演をしてほしいというオファーが来るほど、皆さんの興味を引く実践発表であったと思います。各地で実践されている良い事例を少しでも元を持ち帰ろうという、参加する皆さんの熱意を感じることができました。パネルディスカッションでは、教育者、行政、PTAそれぞれの立場で、学校教育に先人の知恵をどのように生かすか、また人材を育てる教育に資するこれからのPTA活動について討議をいただき、今後のPTAの在り方について提言いただきました。



基調講演 高橋 讓 様



実践発表(阪之上小)

第4分科会

地域連携・広報活動

会場 見附市文化ホール アルカディア

子どもたちの健全な成長に資する地域の教育力
〜PTA活動の輪の広がりを目指して〜

研究課題

第4分科会 実行委員長

廣井 信彦

少子高齢化が進む現代社会では、子どもたちの健全な成長と質の高い教育を実現するため、大人たちが総力をあげて情報と行動の連携を一層強化するとともに、学校・PTA活動の様子を積極的に発信し、協働の輪を広げていくことが望まれます。

基調講演では、岐阜県白川村教育委員会社会教育主事の新谷さゆり様が、文部科学省CSマイスターとしての実践事例を含めてお話しくださいました。

CSでは、学校と保護者、地域の人たちが共通の目的と当事者意識を持って知恵を出し合い学校運営に反映させることで、子ども



開会

の小・中・特別支援学校がコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度・CS)を導入し、市内全域で11の地域コミュニティが学校と連携して活動しています。

基調講演では、岐阜県白川村教育委員会社会教育主事の新谷さゆり様が、文部科学省CSマイスターとしての実践事例を含めてお話しくださいました。

CSでは、学校と保護者、地域の人たちが共通の目的と当事者意識を持って知恵を出し合い学校運営に反映させることで、子ども



アトラクション 合同演奏(見附市内4中学校)

第2分科会

家庭教育

会場 燕三条地場産業振興センター (メッセピア)

子どもの心が育つ家庭環境
〜これからの社会を生きる子どもたちの成長を願って〜

研究課題

第2分科会 実行委員長

白倉 基宏

燕 弥彦PTA連絡協議会と三条市PTA連合会で第2分科会を担当しました。

この度の全国研究大会に向けて、各小中学校PTAの皆様から協力いただき、実行委員会を立ち上げ、約2年をかけて準備を進めてまいりました。何も無いところから少しずつスケジュールを固めていき、シナリオを作成し、大会に必要なスタッフを再度各校PTAの皆さんに協力を仰ぐといった、手作り感満載の分科会となりました。

大変お忙しい中、運営に携わった大勢の方々が、会議を重ね団結を深め、大会を大成功で終えられたことに感謝申し上げます。この地域の絆を今後も大切にしていきたいと思えます。



基調講演 中山 理 様

分科会当日は、燕市長様、弥彦村長様をはじめ、多数のご来賓の皆様にご出席いただきました。また、全国各地から800人を超える皆様からお越しいただき、盛況のうちに大会を終えることができました。大変嬉しく思うとともに、ご参加いただきました皆様にご挨拶申し上げます。

この度の全国研究大会に貴重な海外でのご経験を、家庭教育をテーマにご紹介いただきました。その他多数の方々にご出演いただき、おかげ様で大変盛り上がり、充実した分科会を行うことができました。

大変お忙しい中、運営に携わった大勢の方々が、会議を重ね団結を深め、大会を大成功で終えられたことに感謝申し上げます。この地域の絆を今後も大切にしていきたいと思えます。



パネルディスカッション

第5分科会

情報と人権

会場 柏崎市文化会館
アルフォーレ

ネット社会における大人の役割
子どもたちの安全を守るために

講師の竹内和雄様の観客を虜にする話術、感動を生んだ実践発表、そして地域の高校生を軸に、あつという間に終了時間となったパネルディスカッション、アトラクションの綾子舞を含め、全ての部分で高評価をいただいた分科会となりました。ご出演いただいた皆様に深く感謝いたします。

第5分科会 実行委員長
山崎 謙徳

動いただいた大勢の実行委員の皆様、リハーサルにも多くの時間を費やした実践発表部門の皆様、そして会場責任者の副委員長、その他関係各所の皆様方、本当に、本当にありがとうございます。柏崎刈羽PTAの意気込み(第2の青春を全国の皆様に知っていただくことができました。今回の大会を企画する上で最も重要視した、学校の垣根を越えたPTA同士のコミュニケーション、本当に私たちの宝物です。私たちは、今後のPTA活動に必ず活かしていく所存です。

第6分科会

環境教育

会場 両津文化会館

自然環境を生かす教育への参画
子どもたちの心豊かな未来を求めて

研究課題

第6分科会 実行委員長
川上 巧

2つの台風が佐渡島をそれたことで、無事開催できた第6分科会でした。

基調講演では「環境教育」について、(株)モンベル会長の辰野勇様から「子どもたちの豊かな未来への環境教育」夢と冒険 野遊びの「スヌー」というテーマで、ご講演いただきました。

「冒険」という言葉をあえて身近な「挑戦」という言葉に置き換えて考えれば、社会人として親として挑戦し続けるのが社会と向き合うことの意義はとも大きく、それは社会全体を良くするイノベーションにつながると思います。冒険家として、生きるか死ぬかを体験された辰野様の言葉は来場者の心に響きました。



基調講演 辰野 勇 様



アトラクション 鬼太鼓(両津吉井小)



実践発表



アトラクション 綾子舞

第7分科会

国際理解

会場 南魚沼市民会館

多文化共生とコミュニケーション能力の育成
国際社会でたくましく生き抜く子どもたちのために

研究課題

第7分科会 実行委員長
植木 和明

分科会当日は、南魚沼市長 茂男様、湯沢町長 田村正幸様をはじめ、ご多用の中、多数のご来賓の方々にご出席いただき、南魚沼市教育委員会 教育長 南雲権治様には、パネルディスカッションのパネリストとしてもご参加いただきました。また、全国各地の皆様からお越しいただき、笑顔で大会を終えることができました。大変嬉しく思うとともに、ご参加いただきま

第8分科会

健康安全

会場 ANAクラウン
プラザホテル新潟

子どもたちの笑顔を、そして命を守るために
児童生徒の事件や事故への対応と未然防止に向けた取組

研究課題

第8分科会 実行委員長
南雲 貴広

この度、多くの皆様のお力添えにより、第8分科会を成功裏に終えることができました。これもひとえに関係者の皆様のご尽力の賜物と深く感謝いたします。

さて、57年ぶり2度目の新潟大会となりました。誰かが経験したことのない大会の運営に全てが手探りの中、一つひとつを作り上げていく日々の連続でした。当分科会は、子どもた

ちの命にかかわる危機的事案の発生時にはどのように対応するべきなのか、そしてまたそのような事態に陥らないために、日頃より家庭や学校、地域が連携していくことの重要性や意義深さについて、新潟市P連による実践発表、パネルディスカッションを通して発表・討議いたしました。



おもてなしの心 みんなでお見送り



基調講演 碓井 真史 様



基調講演 羽賀 友信 様



アトラクション 御実城太鼓

特別第1分科会 日本PTA全国協議会担当 会場 新発田市民文化会館

研究課題 『いじめ』心の声「気付くには見逃さないために出来ること」

特別第1分科会実行委員長 高橋 朋弘

「我が子のいじめに親としてどうかかわるか」と題し、「仲間」と「自立をキーワードにご講演いただきました。」「なぜいじめ被害は子どもに深刻な苦痛を与えてしま

「なせいじめ被害は子どもに深刻な苦痛を与えてしま...」

「なせいじめ被害は子どもに深刻な苦痛を与えてしま...」

「なせいじめ被害は子どもに深刻な苦痛を与えてしま...」

特別第2分科会 文部科学省協力 会場 朱鷺メッセ

研究課題 地域学校協働活動推進のためにPTAが果たす役割

特別第2分科会実行委員長 和氣 彰

3点についてご講演いただきました。

本分科会では研究課題について、基調講演、パネルディスカッション、ワールド・カフェ形式でのグループ討議というプログラムで分科会を開催しました。

まず基調講演では、演題「PTAに期待すること」として、文部科学省 西川由香様より、現在の教育行政の大きな方向性、地域と学校が協働することの意義とその制度的枠組み、PTAに期待すること、と大きく



グループ討議後の発表



グループ討議(ワールドカフェ形式)



パネルディスカッション



基調講演 阿形 恒秀 様



全体会場(アオーレ長岡)での長岡花火映像



全体会アトラクション(長岡市立深沢小)



全体会 開会 平石実行委員長 あいさつ (アオーレ会場)



全体会場 (ハイブ長岡)



おもてなしの心 笑顔で受付



大会要項



関東ブロック大会次期開催地のPR(千葉市P)



全国大会次期開催地のPR(兵庫県P)



全体会アトラクション(書パフォーマンス作品)



大会前日の運営打合せ会

(一社)新潟県PTA安全互助会からのお知らせ

安全普及啓発活動に 助成します!

新潟県・新潟市P連所属のPTA会員の安全と健康に関する意識の向上を図り、その活動を奨励するために助成金を交付しています。

助成額

単位PTA 2万円以内 郡市P連 5万円以内
(新潟県P連・新潟市P連に所属 申請は通算5回まで)

申請方法

申請書等の様式のダウンロードは、ホームページで検索してください。

新潟県PTA連合会 → (一社)新潟県PTA安全互助会のページ
◎必ず活動前に申請が必要です。

申請事例

- 自転車交通安全教室
- 野生動物から身を守る講演会
- 救急法講習会
- 「ネットトラブル」防止研修会
- 思春期講座
- 薬物乱用防止教室
- 通学路の安全点検・標識製作
- 防災講演会
- スポーツ障害防止研修会
- 人権講演会(いじめ・人間関係づくり)
- 疾病予防講演会(うつ病・自殺予防)
- けがや病気を予防する栄養講演会

保護者の皆様へ

新潟県小中学校PTA連合会・新潟市小中学校PTA連合会 推薦

平成30年度 小・中学生総合補償制度 ご加入のおすすめ

 (団体総合生活保険)

追加募集中!!

特長 1

示談代行付き 個人賠償責任補償で 安心!



お子様ご本人だけでなく、
家族やペットが起こした
賠償事故も補償

特長 2

お子様がケガ 学校内・放課後・通学途中・プライベートを問わず 24時間補償で安心!



熱中症、
細菌性食中毒も補償!

「もしも」が起こった時に
大切なお子様を
24時間いつでもどこでも
お守りする
「備え」のご案内です

特長 3

幅広い補償

インフル
エンザも
対象



病気で入院した場合の**医療補償**
(P5・M5プラン)



お子様の扶養者に
万が一のことが
あった場合の
育英費用補償
(P5・M5・Hプラン)

特長 4

1万人以上の加入で団体割引等の
適用により **約51%割安**
年間掛金3,000円~加入できます

簡単!ご加入手続きは
記入・投函するだけ!

学校から配布された**オレンジ色の封筒**をご確認ください。
パンフレットがお手元がない場合は事務局までご依頼ください。
加入依頼書を記入し返信用封筒にてご返送ください。

このチラシは団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、代理店までお問い合わせください。



保険金お支払い実績

ケガをした!ケガをさせた!入院した!

お子様の行動が活発になるほど
不慮の事故も懸念されます。

〈平成29年度お支払い実績〉

加入者	13,490名	事故受付件数	989件
傷害事故	888件	医療・育英・携行品	42件
賠償事故	58件	死亡	1件

●制度に関するお問い合わせ先

一般社団法人新潟県PTA安全互助会事務局
〒950-0965 新潟市中央区新光町 7-2 新潟県商工会館5F
TEL 025-280-0456 (受付時間/月曜~金曜 9:00~17:00)

【幹事代理店】有限会社新潟コーリン
〒950-0965 新潟市中央区新光町 7-2 新潟県商工会館5F
TEL 025-280-0361 (受付時間/月曜~金曜 9:00~17:00)

【引受保険会社(幹事)】東京海上日動火災保険株式会社

平成30年3月作成 17-T 12565

編集後記

今年、8月24・25日に本県で第66回日本PTA全国研究大会新潟大会が開催された年でした。今号の中心は、この大会に携わってこられた実行委員長をはじめ、役員の方々からご寄稿をいただき、これまでのご苦労や大会の雰囲気や伝わるように編集しました。

また、毎年行われている新潟県PTA広報紙コンクールの結果も掲載しています。入賞された広報紙は、それぞれ工夫が凝らされており、見て楽しく、内容も充実したものばかりで、大いに刺激を受けました。

紙面作成にご協力いただいた皆様に、改めてお礼を申し上げます。

(広報委員 櫻澤 邦宏)



うちの子、安全だ!いじょうぶ?
「避ける指導」から「見守りつなげ」の社会へ。新しい防犯教育の本。
(1,500円+税 新読書社)



自然災害からの学びと教訓
被災地の防災の取組から学ぶ。もしもの時、自分と大切な人の命を守るように。
(2,000円+税 日P)



PTAわが家の子育て
子育てに悩んでいるのは、ウチだけじゃない。似たような事例がいっぱい。
(2,000円+税 日P)



PTA応援マニュアル
様々な場面の挨拶、各種会合の案内状等の参考例集。CD付きなので編集することができます。
(1,800円+税 日P)

実践!!
役立つ本
紹介

